

熊本県公立高校入試徹底分析【国語】

【形式・難易度】

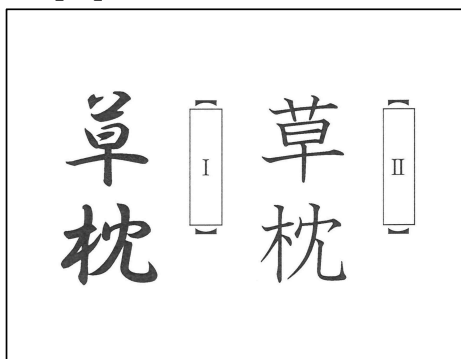
試験時間	50分	配点	50点
問題構成	大問5題。知識事項、資料読み取り、論説・説明文、小説、古典ごとに大問1題。 大問1は漢字、語句、文法が出題され、配点は9点。 大問2は資料の読み取り、会話文形式の出題がされ、配点は6点。 大問3は論説・説明文が出題され、配点は11点。 大問4は小説が出題され、配点は10点。 大問5は古典が出題され、配点は8点。 作文は大問2に組み込まれ、上記の配点に6点が追加される。		

	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)	令和2年度(2020)
問題量 (A4で)	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分
小問数	32問	30問	31問	30問	31問
論述問題の数	6問	7問	10問	9問	8問
論述問題配点	18点	21点	24点	23点	19点
受験者平均点	—	25.4点	24.8点	20.5点	25.4点

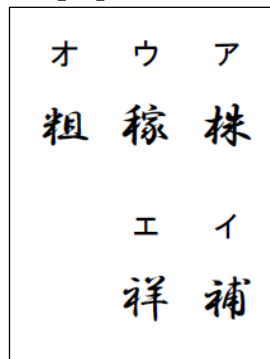
【出題の傾向と対策】

①辞典、書体に関する知識を深める。

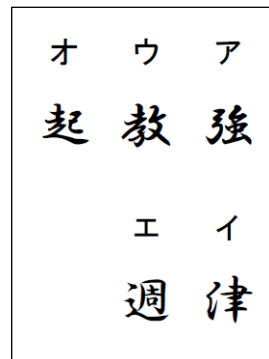
R4[1]



R5[1]



R6[1]



R4[1]4 [I], [II], [III]の部分に入れるのに適当な言葉を、それぞれ [I]と[II]はあとのa群(ア・イ)から、[III]はあとのb群(ウ～キ)から一つずつ選び、記号で答えなさい。

【違いを述べた文】

[I]は[II]に比べ、点画を[III]書くので速く書くことに適している。

a群 [ア 楷書 イ 行書]

b群 [ウ 崩さずに エ 明確に オ 直線的に カ 独立させて キ 連続させて]

R5[1]2 二重傍線Aの部分「社」の漢字と同じ部首の漢字を次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

R6[1]3 二重下線Bの部分「純」を楷書で書いた場合の総画数と、次のア～オの漢字を楷書で書いた場合の総画数が同じものを一つ選び、記号で答えなさい。

★R3「国語辞典」に関する出題があった。日頃から国語に関わるものに興味、関心を持つことが必要である。

②文法事項は解法を漏れなく暗記する。

R4[1] 調査枠組みの検討をB続けると発表。

3 二重傍線Bの部分「続ける」は動詞である。活用の種類と活用形を書きなさい。

5 二重傍線Dの部分「山路を登りながら、こう考えた。」には、活用のある自立語がいくつあるか。数字で答えなさい。

R6[1] 西洋の文明とC共に、コレラなどの恐ろしい伝染病が日本に入り込みます。

4 二重下線Cの部分「共に」が修飾している一文節を抜き出しなさい。

★直近の6年間で常に品詞分類、活用の種類・活用形のいずれか、もしくは両方が出題されている。

③会話を交えた資料の読み取りがほぼ毎年出題されるため、多くの情報から必要な事柄だけを抽出し、まとめる力が求められる。

R6[2]

4 次は、【発表原稿】の傍線④の部分「ソーシャルメディア」について調べていく中で、日本におけるソーシャルメディアの利用の特徴に興味を持った池田さんが、下の【グラフ】を参考にしてソーシャルメディアの利用に関する日本と他国の違いについてまとめたものである。[A]と[B]の部分に入れるのに最も適当な言葉を、【発表原稿】からそれぞれ十五字以上、二十字以内で抜き出しなさい。ただし、二箇所ある[A]には同じ言葉が入る。

【発表原稿】

皆さんがインターネットを使う時に気を付けていることは何ですか。情報流出、人間関係のトラブル、誤った情報の伝播、権利の侵害、健康被害など、さまざまなリスクがあるため、混乱してしまうという人もいます。そこで、こうしたリスクに対応するための情報モラルを理解するポイントとなるものをいくつか探してみました。

調べてみると、「情報モラルの大半が日常モラルである」と書いてある資料を見つけました。これは、インターネットを使用する時には、態度や態度、思いやりといった、日常モラルが非常に大切だということを示していると思います。言い換えると、対面のコミュニケーションでやってはいけないことは、③の「です。もちろん、これだけで全てのリスクに対応することはできませんが、日常モラルを高めないように注意してインターネットを利用することが、リスクに備える第一歩になると思います。

例えば、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）のような、インターネットを通じて多くの人々が互いに情報を発信し合い、交差するソーシャルメディアは、情報の客観性や信頼性を確認する必要がありますが、さまざまなことについての情報を得るという点でも、他者とコミュニケーションを図るという点でも、大変便利なものです。SNSのように、コミュニケーションツールとしてインターネットを活用する場合は、いっそう日常モラルが大切になることを意識する必要があります。

はじめに述べたように、インターネットを使う際にはさまざまなリスクがあります。しかし、今やインターネットは社会に欠かせないもので、情報モラルを正しく理解してインターネットを活用し、学びを広げたり、深めたりしていくことが大切だと考えます。

【話し合いの様子】

池田 今日の話は、インターネットとの付き合い方という、私たちにとても身近な内容だったね。

富本 インターネットの使い方については、これまでも勉強してきたよね。今日の講話でも、実際にあったことがたくさん紹介されていて、わかりやすかった。

井上 うん、自分だったらどうするだろうと想像しながら話を聞くことができたよ。調べものをする時だって、たくさん情報が出てくるから見つかるインターネットはとても便利だから、毎日のように使っているよね。

松永 ④ただ、今日の講話を聞いていたら、インターネットは便利だけれど、危険を感じたよ。

富本 ⑤意見をなくとも③を信じて伝播してしまう危険性や、ネット依存、著作権の侵害など、いろいろな問題が紹介されていたね。リスクがたくさんあるから、何に注意すればいいかわからなくなってしまうそうだよ。インターネットを安心して使うには、どんなことに注意して利用すればいいのかわからない。

井上 そうだね。危険だからインターネットは使わないというわけにはいかないからね。

池田 インターネットを使うと、学びを広げたり、深めたりすることができから、勉強する時にインターネットを活用することも多いよね。インターネットを上手に使っていきたいね。

【グラフ】

ソーシャルメディアを利用して、良かったと思えたこと（複数回答）

（総務省「ICTによるインクルージョンの実現に関する調査研究」（2018）による。）

「グラフ」を見ると、ソーシャルメディアの利用に関して、日本では、[A] ことができるといふ点よりも、[B] ことができるといふ点にメリットを感じている割合が高いことがわかる。

④毎年出題されている作文は、提示された多くの条件に沿って書き上げる形式ではなく、自らの体験、見聞に沿って端的に意見を述べなければならない。

R5[3]

5 「対話」によって得られるものについてのあなたの考えを、自分の体験や経験をまじえて、次の〈注意〉にしたがって書きなさい。

- 〈注意〉 1 解答欄の原稿用紙には「題名」や「氏名」は書かないで、本文だけを縦書きで書くこと。
 2 書き出しはマス空け、段落は変えないこと。
 3 六行以上、七行以内にまとめて書くこと。

★原稿用紙の正しい用い方を意識しながら、中学3年生らしい言葉遣いで文章を書くこと。

★R6とH31は大問2で出題された。

解答

R4 [1] 4 I イ II ア III キ R5[1] 2 エ R6[1] 3 オ
 R4 [1] 3 下一段活用・終止形 5 2 (登り・考え) R6 [1] 4 入り込みます
 R6 [2] 4 [A] 他者とコミュニケーションを図る [B] さまざまなことについての情報を得る
 R5 [3] 5 (例) 私が中学三年生になったばかりのころ、それまで話したことがなかった同級生と、対話を通して、お互いを深く知ることができたという経験をした。話題は勉強の目的についてだったが、互いの意識の違いが顕在化した、まさに対話であった。対話とは、勝敗や何かしらの決着を見出すものではない。対話によってお互いの固定観念が消え、新たな知識や発見を得ることができるだろう。